

## ビフォー

- 1. 人事交流の停滞
- 2. 学校改善の停滞

## 改革

## アフター

- 1. 人事交流の活性化(附属小への希望の声、増) 教職員・保護者が自慢できる子どもたちに!
- 2. スピード感のある学校改善 県教委が信頼と期待を寄せる学校に!

## 1. 魅力ある学校づくり(県の教育課題解決のモデルとなる)

### (1) 活力ある職場づくり

- 【スクラップ】 長時間勤務の廃止(タイムレコーダーで管理) 7時より早く出勤しない、19時より遅く帰らない、土日祝出勤しない  
年次制廃止、OB会への任意加入、学校行事の精選(前例踏襲の廃止)  
研究団体事務局の外部移管、研究紀要廃止、公開研停止、教科別研究室廃止
- 【ビルド】 対応が難しい生活指導の案件に組織(教務主任が窓口)で対応  
勤務時間外専用のダイヤル設置、職員の電話番号の非公開

### (2) 自慢の子どもづくり(子どもの姿で結果を出し、改革の推進力アップ)

- ①安心して過ごせる学校づくり(学校全体で揃える)  
フリートーク、挨拶・掃除・スリッパ揃え、小中生徒指導部会、褒め言葉のシャワー
- ②小中共同でオールイングリッシュによる外国語活動の研究推進及び研究成果の発信

## 2. 芯の通った学校組織(県教委が求めている組織)の構築

### (1) 校長のリーダーシップ強化

経営会議・運営会議の設置、職員会議の廃止、学校評議委員の刷新

### (2) 教頭の業務整理及びミドルアップダウンの具現化

管理職の権限を主幹・指導教諭に一部委譲。主幹・指導教諭、教務主任の授業時数ゼロにより、全体への目配り、機動力アップ

### (3) ミドルリーダーの育成

分掌主任へ担当業務の総括までの責任を持たせたり、学年主任会で学校運営への提案をさせたりすることで学校運営への参画意識アップ

## 県教委・附属中学校・大学との関係改善への取組

